

C O N T E N T S

○ 連載:「私の好きなこの一曲」 Vol.1	会長 小川 理子	3P
○ ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤーコンサート - 中継・録音プロジェクトについて	デトモルト音楽大学 金井 哲郎	5P
○ バイノーラル収音と最新収音機材について	株式会社リザン音響/サザンアコースティクス 稲永 潔文	11P
○ 第20回1ビット研究会報告	1ビットオーディオ研究会 小谷野 進司	19P
○ 音の日委員会の活動報告	音の日委員会 委員長 林 和喜(株式会社JVCケンウッド)	28P
○ 「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」受賞作品制作レポート 「最優秀賞」	東京藝術大学大学院 音楽研究科 田中 克 東京藝術大学 音楽学部 増田 義基	32P
「優秀録音技術賞」	洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコース 岩本 双葉	38P
「優秀音楽作品賞」	名古屋芸術大学 音楽学部 福井 楓葉	42P
「優秀企画賞」	九州大学大学院 芸術工学府芸術工学専攻 田島 俊貴	46P
○ CES2019報告	三菱電機 正田 純	50P
○ 連載 新会員紹介 オーディオメーカーHIFIMANについて	株式会社HIFIMAN JAPAN 運営企画部 湯 嘉斐	60P
○ 【JAS インフォメーション】 2019年度 第4回(12月)理事会・運営会議報告		64P
○ 編集後記	編集委員 吉田 穂	65P

1月号をお届けするにあたって

令和最初のお正月も開けました。1/21 から始まった世界経済フォーラムの年次総会(ダボス会議)でも、世界的な気候変動への危機感が共有されておりますが、例年になく降雪が少ない暖かな冬を迎えております。関東地方ではこの時期、連日晴天で乾燥した日々が続くのが、ある意味「当たりまえ」でしたが、今年は曇りや雨が多いのが気になります。湿度が高いので今年はインフルエンザの大流行はないかな?と思っていたら、中国から新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が出てきており、気の抜けない状況となりました。お体ご自愛下さいませ。

さて、今月号は盛りだくさんの内容をお送り出来ることになりました。まず、デトモルト音楽大学でトーンマイスター専攻を修了された金井様からは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤーコンサートの中継・収録現場について、たいへん貴重なレポートを頂くことができました。また、前号に引き続きサザン音響の稻永様からは、バイノーラル収音とその最新収音機材に関するレポート、1ビットオーディオ研究会の小谷野様からは、20回を迎えた同研究会のリポートを頂きました。ストリーミングの利用やヘッドホン/イヤホンリスニングの普及が進む中で、とても有益な情報を提供頂けたと考えています。

さらに、音の日(12/6)に開催された記念イベントの報告を JAS「音の日」委員会の林委員長から、ならびに同イベント内で例年開催しております「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」の受賞者から、作品制作レポートを頂いています。また、昨年に続いて CES の報告を三菱電機の正田様から頂きました。小川会長の連載は今号から、「私の好きなこの一曲」と題する新シリーズとして新たに連載開始です。